

# 新高退通信 No.123

HP : shin-koutai.jimdo.com mail : shin.koutai@gmail.com

# 新潟高教組

発行所 / 新潟県高等学校教職員組合 / 新潟市中央区川岸町2-11 / TEL (265) 4151 / FAX (231) 1036-1 部10円 (購読料は組合費に包含)

発行人 吉田 裕史

2016年6月1日 号外

新潟県高等学校退職者の会

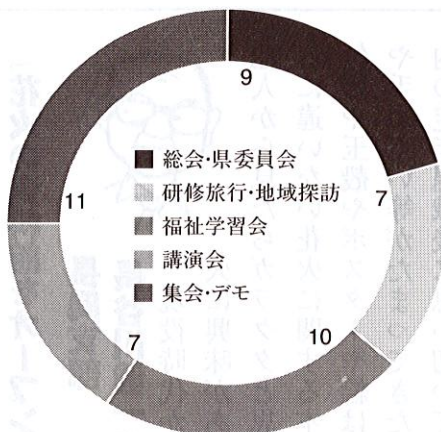
事務局 〒951-8133 新潟市中央区川岸町2-11-4 (高校会館内)

退職者の会専用電話 025-265-1110

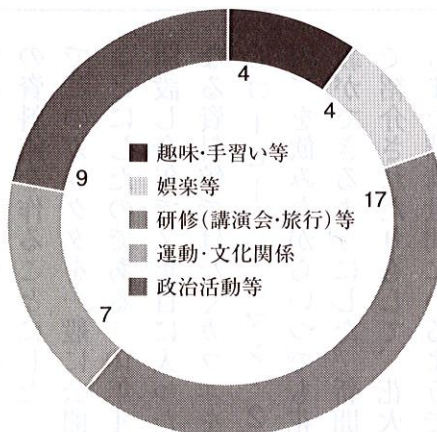
## 若年層アンケートを実施

概要を報告します！  
県委員会・総会で論議を！

活動を通じての仲間作り	7	1	加入動機 [人]
組合活動などの継続	8	7	■男 ■女
情報を得るため	7	3	
当然のこととして	13	6	
その他	5	2	



参加した活動 (本部企画) [人]



参加してみたい活動 [人]

### 教え子を再び戦場に送るな！

## 「戦争法」廃止を全力で！

事務局 内山正知

### 熊本地震が発生

熊本で大地震が発生した。直下型地震で、被害の様子は阪神大震災や中越地震を思い起こさせる。亡くなられた方、被災された全ての方にお見舞いを申し上げたい。

震源は阿蘇山のすぐ麓を走る布田川・日奈久断層帯で、この断層帯は日本最大の活断層「中央構造線」の西端に連なる。熊本地震をきっかけに、中央構造線沿いに東に向かって震源が移動しているとの観測もあり、巨大南海トラフ地震の前兆との見方もある。

しかしこの状況でも、全国で唯一、稼働中の九州電力川内原発は停止していない。玄海原発(佐賀)、伊方原発(愛媛)、島根原発にも差し迫った危険がある。

おおさか維新の片山虎之助は「大変タイミングのいい地震だ」と発言した。自民もおおさか維新もまさに本音だろう。北海道の補選では「支持政党なし」の7割が

野党統一候補を支持したが、熊本地震への自衛隊災害派遣を利用して自民の宣伝戦略などで野党統一候補は惜敗した。

### 新潟選挙区の取り組み

新潟でも参院選に向けて、「市民連合@新潟」を中心に野党統一候補擁立の取り組みが進められてきたが、4月27日によくやく「生活の党」の森ゆうこが無所属の統一候補として決定された。

過去3回の野党候補の得票を合算すると自民票を上回るが、政党同士の確執、投票率、18歳選挙権による有権者2万人程度増(推定)など不透明な部分が多い。憲法「改正」を悲願とする安倍首相に打撃を与えるためには、大差で自民党を撃破する必要がある。

退職者の会でも、様々な想いを乗り越え、「戦争法廃止」のため、反自民・反安倍の意思を圧倒的に集中させて、森ゆうこ当選に最大の取り組みを行おう。

# 「総会特集」号の発行にあたって!

「一銭五厘の旗」のもとに

会長 木村昭雄

3月29日、安保法が施行され、「教え子を再び戦場に送る」、「国民学校の朝が来る」ことの現実味がいつそう膨らんできた。

『暮らしの手帳』創誌者の花森安治は、「ぼくらの暮らしと企業の利益がぶつかったら、企業を倒すしかない。ぼくらの暮らしと政治がぶつかったら、政府を倒すしかない」と、戦争に加担した自らの痛切な反省をこめ『一銭五厘の旗』で記したが、反射・連動的にわたしの脳裏に浮かんできたのは、作家・井上光晴の詩集『味噌汁』での「喉にしみ込むような味噌汁を食べたい 朝も昼も晩も梅干しとゴマ塩 昨日も梅干しとゴマ塩 明日の菜もあてはない」の一節である。

戦争の足音は軍靴のようではなく、忍び足である。ごくごくありふれ、あたりまえの暮らしの変化に気がついたときはすでに遅し、というのが、わたしが学んだ歴史の教訓。「一銭五厘の旗」のもとに、百人の一步をめざそう。

## 退職後五年のふたご日記

### 「花火の資料館をオープン」

長岡支部

長谷川健一(05)



現役時代から花火に興味があつて

他人から見たらガラクタと思われるに違いない花火に関する本や番付類や玉殻やポスターや絵はがきや手ぬぐい等がたまってきた。家の内の定年退職後に思い切つて花火の資料館を作ることにした。2人でこのガラクタを一般に公開することにしたのである。10年4月に開設し今年で7年目に入った。単なる資料館ではなくカフェを併設しコーヒー(ブルマン・200円)を飲みながらいつでも花火談義ができるようにした。新聞などで紹介されたりもして、花火好きもまた結構世間にいるようで市内はもろろん県内外、海外から(数組)お客さんとして来訪された。ほとんどはリピーターである。花火に全く関心のない方々も世間話に來られる。木曜から日曜までの

### 「野菜作り」

長岡支部

内山建男(05)



退職して 早10年、過ぎてみれば、あつという間であった。育メン(ジジイ)となり、それなりの大変さもあつた。ただ、仕事での

拘束というものはなくなり、自由気ままに生きてきた。山登り早朝ウォーキングやジョギングなどで運動不足にならないように、趣味と実益を兼ねてやってきた。

しかし、物足らず、今は自宅近くの休耕地を借りて、毎年野菜作りに挑んでいる。機械も農薬も使わずに、全て、手作業である。わずか30坪少々であるが、人力でやるとなると、これが、なかなか手強い。三本鍬で深く掘り、その後、平鍬でならずという作業も、骨の折れる仕事である。毎日少しずつ耕していけば、何とかなる。いろんなものを栽培したが、枝豆だけは、毎年植えている。収穫直後のものを、茹でて、ざるに盛む。これはやめられない。

野菜作りには連作障害もあるので土作りが大事になる。燕市で無料提供される剪定堆肥を使っている。無農薬では、害虫と雑草との闘いになり、忙しい。また化学肥料を使わないと悪い。今度は、それも使わない自然農法に挑戦しようと考えている。いつまで人力で、畑打ちができるか分からないが、体力の衰えを感じるバロメータになっている。

これからも、体力の続く限り「小欲知足」の心で、自然と付き合っていきたいと思っている。

「定年後10年、さつじい」



佐渡支部

大木戸研二(05)

【定年後10年】

講師3年、事務局

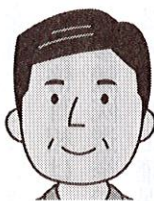
長4年、支部長3年、計10年。これが定年後の私の10年間でした。無力でしたが私なりに頑張ったつもりです。

私的には定年後は佐渡探訪をと思い、佐渡に関するいろんな催し物に参加してきた。ジオパーク研修、佐渡の歴史・文化の講演会、退職者の会の支部研修旅行、佐渡の山々の山行、海の釣行・・・この間、囲碁の北陸大会、全国大会に出場させていただいたこともありました。時間に拘束された現役時代とは違い、思い立ったら吉日。そして佐渡ほどの催し物もすぐに参加出来る距離にあり、周りが海に囲まれている故、内容は佐渡という身近な中で完結するから、より興味がもて理解が深まる。「灯台下暗し」で目から鱗なる催し物ばかりである。

【今後の10年】昨年田んぼを2

反歩ほど借り受け、70歳にして農業に参入である。畑作も土壌改良からと貝殻、牛糞、籾殻の投入を実施。稲作も畑作も日に日に育っていくのが目に見え楽しい。人間最後は土に還るのだから泥まみれの中での私の生活も幸せなのかもしれない。これからは晴耕雨碁と考えている。

「10年」



新潟支部

大塚 崇(05)

現職の頃から続けていた新潟県モ

ンゴル友好親善協会の事務局長の仕事を中心にあつという間に10年が過ぎてしまいました。新潟県国際交流センターの事務所の一画をお借りして週に3日新潟までの通勤、その後新潟西高校での3か月の常勤講師、現職の頃の不摂生がたたり約2年間体調不良での療養と続き、やっと最近体調も回復し元の生活に戻りつつあります。

先日、木村毅元委員長の計報に接し、モンゴル親善協会の会長として種々の指導と助言のもとで活動してきましたが、これも一区切りとして、国際交流関係から一歩退くつもりです。若い時と違って

不摂生はもろんのこと、無理がきかない年になったので、あとは晴耕雨読の生活でゆっくり過ごしたいと思っています。

「真っ赤な妙高山」



柏崎支部

池田朋子(05)

国の登録有形文化財の土蔵を活用

し「ギャラリー十三代目長兵衛」が昨年末閉廊してしまいました。中越沖地震を乗り越え10年余数々の素晴らしい作品や作家との出会いがありました。白壁と茶色の柱が印象的な蔵は江戸時代に建てられたものでギャラリーに在るだけで癒される空間でした。家からも近く本町にあったので足繁く通ったものです。10年の軌跡はギャラリーのアートに求めていけば必ず毎回毎回新しい発見があり、いつも溢れるエネルギーをもらえる場所でもありました。柏崎が誇る画家「水野竜聖」さんの展覧会が毎年の締めくくりとなる年の瀬恒例となっており、最後の展覧会も水野さんの作品で閉廊を迎えました。このままでは淋しく気落ちするのではないかと思った私はパワーが授かると思い「一枚の絵」を

買い求めました。真っ赤に塗られた画面に「ひとふで」白い妙高山が浮び、聳えている。まさに水野さんの赤であり一筆の威力は遠い記憶を呼び覚まし、懐かしい光景を次々に展開してくれています。スキーを担ぎ出かけて行くゲレンデが妙高池の平でした。いつもフリーパスでリフトに乗せてもらえる「華の女子大生」だったようです。我家の玄関に10年来飾られている水野さんの絵があります。細かい「竜」が睨みをきかせ何かを撃退しています。退職最後の年に私は「まさか」の坂をころげ落ちてしまいました。「竜」はお払いに描いてもらったようです。現在はおかげさまで元の元氣印の婆婆ちゃんに返ることができました。ギャラリー十三代目長兵衛から得た刺激は今や沸々と湧きあがる想像の世界で舞い踊っています。



今回、27名の会員が退職後10年に該当し、寄稿依頼を行いました。そのうち、14名の会員から原稿を送って頂きました。ありがとうございました。次号に続きます。

第20期執行委員会発足に当たって

新高教2016年度の課題

新高教執行委員長 吉田 裕史



日本の教員の勤務時間はOECD参加国中最長の週53・9時間(参加国平均38・3時間)で、

を許さないとりくみと、全教職員参加による情報共有・共通理解・教育課程編成をすすめていかなければなりません。

日教組青年部による職場実態調査によると、1カ月の超勤時間は、平均61・9時間であり、過労死ラインとされる月80時間以上の教職員は3割近くにも及んでいます。日教組は2015定期大会で「給特法を廃止し、時間外手当化する」と方針化し、給特法違反の事例把握、措置要求・苦情処理申し立てに必要な法的要件整理などとりくみを強化していきます。青年部層を中心に学習会を開催するなど意識改革をすすめるとともに、県教委交渉を展開しながら組織拡大につなげていかなければなりません。

県教委「県立高校の将来構想」は、今後10年間で3900人の中学卒業生減に対応するため「適正規模」に満たない小規模校を統廃合する方針を示しています。今後

策定される「3年ごとの計画」に一方的な再編や統廃合

新高教にとって喫緊の課題は組織強化・拡大です。本部・支部・分会の役割分担の明確化と連携の強化をすすめるため、「新高教組織財政見直し方針」を提起しています。支部、分会、専門部、を始め、全組合員の組織的討議で方針を確立していきます。

安倍首相は、通常国会の質疑で「参議院選挙で改憲勢力が3分の2の議席を確保し、首相在任中に改憲する。」とまで言及し、憲法をめぐる情勢は極めて緊迫しています。立憲主義、国民主権、平和主義、基本的人権の尊重をことごとく破壊し、「戦争できる国づくりに」突き進む安倍政権の暴走を許すことはできません。比例区などにや正義と、新潟選挙区森ゆうこ当選を期して支援を強化していかなければなりません。

以上述べた課題以外にも、人

事評価制度の運用や政令市への給与権委譲など賃金労働条件の課題も山積しています。今後の活動にご支援をお願いいたします。

新高教第20期  
本部執行委員会

執行委員長	吉田 裕史	離籍
執行副委員長	宮山 恭典	正徳館
	佐藤 正成	吉田
書記長	遠藤 丞	万代
書記次長	佐藤 良太	阿賀黎明
	今井 勇雄	阿賀野
執行委員	長谷川 昇	新潟北
	猪腰 浩明	巻総合
	浅川 智之	三条東
	岩田 康晴	加茂
	木暮 直樹	川西
	小林 司	出雲崎
	山本 満	高田南城
	石井 一行	佐渡
特別執行委員	江花 和郎	新潟県労働
		金庫理事長
会計監査委員	河野 澄芳	明鏡
	高橋 直哉	新発田
	磯貝 明	直江津中等

『活動日誌』・点描

■佐野達哉さん来局(2月2日) 北陸ブロック囲碁大会の担当を石川県退教から新潟で引き受けることになったため、大会は10月6日、上越市・高陽荘■2・11にいがた平和集会(2月11日)「建国記念の日」に例年行っている歴史認識を問う集会。今年は安田浩一さんの講演で「ヘイトスピーチとは何か」差別と憎悪の現場取材して〜」■市民連合+総がかり(2月21日) 佐々木寛新潟国際情報大教授の講演■連合新潟高齢協幹事会(2月22日) ■教育をよくする県民会議幹事会(2月23日) ■日退教・北陸ブロック代表者会議(2月25・26日) 新退教が当番単会、北陸新幹線の関係で会場は妙高温泉、今年度は新高退が2010年度以来の代表単会■日退教・ブロック代表者会議(3月1日) 木村会長がブロック代表、方針の骨格論議■「通信」No.122の発送作業(3月2日) ■東電・柏崎刈羽原発差止め訴訟第14回口頭弁論(3月7日) 市民の会による街頭宣伝行動、今回は古町十字路で、東電が柏崎刈羽原発に関するCMや広告を県内限定で行って

ることに、福島からの避難者と一  
緒に糾弾、抗議署名を募った。い  
つもながらの東電側の不誠実さに  
怒りをおぼえる。■福祉厚生委員  
会(3月9日)第23回福祉学習講  
座を9月29日に「福島からの避難  
者の話」を聞くこととした。■  
3・11福島を忘れない!企画(映  
像とトークで伝える ふくしま)  
(3月13日)東電福島第一原発爆  
発の瞬間をとらえた福島中央テレ  
ビの佐藤崇さんと菅首相の「浜岡  
原発停止要請」原稿の執筆に参画  
した下村健一さんの話 ■事務局  
会議(3月16日)34回目、201  
5年度最後の会議、「戦争法」廃  
止の取り組みのため多い回数。■  
総がかり19日行動(3月19日)古  
町十字路での「戦争法の廃止を求  
める統一署名」活動、県立高校の  
女子生徒2名が署名をしてくれ  
た。■第39回新高教退職者激励会  
(3月31日)この日が新高教執行  
委員長最後の小堺さんの挨拶、木  
村新高退会長の挨拶、滝川鯉橋の  
落語独演会。退職者の出席は11  
名、その場で2名の方から新高退  
加入申込み書をいただく。■事務  
局会議(4月7日)2016年度  
第1回。新加入者の確認、地域探  
訪参加者、若年層アンケート・統

一署名などの集約状況の確認。■  
第6回「立憲主義と憲法9条をま  
もる新潟県民の集い」(4月10  
日)新高退会員の参加者は合計で  
20名を超える。来賓の森ゆうこさ  
んには大きな激励の拍手。講演は  
伊藤真弁護士の「今こそ『憲法の  
力』をつけよう!わが国を戦争す  
る国にしないために」■新高教新  
高退第1回定期協議(4月13日)  
現職の厳しい状況、それに抗して  
の頑張りに敬意を表したい。■映  
画「戦場ぬしみ」上映会(4月18  
日)■第87回新潟県中央メーデー  
(4月29日)朝から雨、肌寒い。  
連合新潟高齢協では最大人数だろ  
う。(石野)

### ※告知等

◆「熊本地震」日退教会員被災者  
支援カンパ・お見舞のとりくみ  
日退教、熊退教、熊高退などが  
ら、表記のカンパとりくみの要  
請が来ていますので「会費納  
入」と同時にご協力を。  
◆「戦争法の廃止を求める  
2000万人統一署名」  
現在268筆(56人)が提出さ  
れています。まだ未提出の方の

提出をお願いします。  
ベ切・2016年6月20日

### ◆生涯学習委員会企画研修旅行

「北前船、西廻り航路起点の酒  
田、羽黒山、藤沢周平のふるさ  
と鶴岡をたずねる旅」  
日程・10月12日(水)〜13日(木)  
見学先・旧青山本邸、本間美術  
館、羽黒山、鶴岡市内など  
参加費・2万円程度  
申込みベ切・9月23日(金)

### ◆新高退名簿

発行・2016年9月  
※6月発行の予定でしたが、都  
合により延期します。

## 編☆集☆後☆記

通信のリニューアルを行ってか  
らこの号で丸2年になる。この  
間、見やすい文字サイズや写真の  
適切な使用などにより、「読んで  
もらえる誌面作り」にこだわって  
きた。「戦争をした国の記憶(リレ  
ートーク)」、「支部同好会活動報  
告」など、シリーズ化してきた  
が、若年層アンケートでもおおも  
ね好評で胸をなで下ろしている。  
「リレートーク」は紙面の関係  
で今号は休載するが、戦争体験を

語れる世代が少なくなる中、若い  
世代にもう少し語り続けるため  
に、過去に刊行した「語り継ぎて  
繰り返すまじ」の中から、執筆者  
の同意を得た上で、再編集して掲  
載を継続することにした。

今年度の総会でも、組織強化が  
大きな課題となっている。高齢化  
率が年々高まっているため退会者  
数が増加したことから、新規加入者  
数の減少が大きな原因だ。生徒数  
急減により教職員数が1990年  
の7割弱になった上に、新高教の  
組織率が72%から35%に半減した  
ことが会員数急減に拍車をかける  
ことになる。組織運営と活動の見  
直しが急務だ。(内山)

### 会員計報

謹んで哀悼の意を表します。

- 高波 文江さん (魚沼支部) 2・20 88歳
- 尾島 昭夫さん (上越支部) 3・4 80歳
- 中村 節夫さん (新潟支部) 3・20 74歳
- 井比庄左衛門さん (柏崎支部) 3・31 88歳
- 斉藤 信夫さん (新発田・村上支部) 4・6 63歳

第2号議案

1. 2016年度一般会計予算(案)

[収入]

費目	予算額	備考
前年度繰越金	88,279	
会費	2,010,000	1,500円×320人 3,000円×510人
新高教補助金	515,000	
雑収入	200,000	預金利息、上部組織交付金、祝儀等
繰入金	500,000	特別会計からの繰入
合計	3,313,279	

[支出]

費目	予算額	備考
分担金	136,130	日退教、北陸地区退教協、連合新潟高齢協
総会費	315,000	旅費・懇親会費補助(参加費2,000円)
会議費	114,000	県委員会、役員会、その他
委員会費	64,000	各委員会旅費等
情宣費	88,000	編集会議費、取材費、編集費
支部活動推進費	745,000	支部活動交付金、支部広報活動補助、支部総会本部役員出席旅費、支部学習会補助、支部同好会活動補助
学習交流会費	200,000	各種学習会、囲碁大会、その他
連帯活動費	350,000	上部団体等会議・集会・学習会、その他
事務局業務費	608,000	事務局会議費等、事務局業務費・行動費・研修費、消耗品費、その他
通信費	50,000	メール便・切手・はがき等
慶弔金返戻金	17,000	2010年度退職会員等 1人1,000円×17人
会員名簿作成費	60,000	2016年度版会員名簿
借入金返済	500,000	特別会計へ
予備費	66,149	
合計	3,313,279	

2. 2016年度特別会計予算(案)

[収入]

費目	予算額	備考	
前年度繰越金	837,418	2011年度末退職会員会費	30×3,000=90,000
		2012	19×6,000=114,000
		2013	16×9,000=144,000
		2014	4×12,000=48,000
		2014	1×15,000=15,000
		2014	1×3,000=3,000
		2015	1×3,000=3,000
		預金利息等	920,418
		一般会計貸付金	△500,000
		貸付金返済	500,000
預金利息等	1,000		
合計	1,338,418		

[支出]

費目	予算額	備考	
一般会計繰入金	216,000	2011年度末退職会員会費	16×3,000=48,000
		2012	30×3,000=90,000
		2013	19×3,000=57,000
		2014	14×3,000=42,000
		2015	1×3,000=3,000
一般会計繰入金	500,000		
次年度繰越金	622,418	2012年度末退職会員会費	19×3,000=57,000
		2013	16×6,000=96,000
		2014	4×9,000=36,000
		2014	1×12,000=12,000
		預金利息等-貸付金	421,418
合計	1,338,418		

## 2015年度特別会計決算書

(2015.4.1～2016.3.31)

## 〔収入〕

費目	予算額	決算額	増減	備考
前年度繰越金	1,011,245	1,011,245	0	
会費	270,000	90,000	180,000	2013年度退職会員会費 2人×12,000= 24,000 2014年度退職会員会費 3人×15,000= 45,000 2014年度退職会員会費 1人×15,000= 15,000 2014年度退職会員会費 1人×3,000= 3,000 2015年度退職会員会費 1人×3,000= 3,000
預金利息等	1,000	173	827	普通預金利息
貸付金返済	100,000	0	100,000	貸付金残 500,000
合計	1,382,245	1,101,418	280,827	

## 〔支出〕

費目	予算額	決算額	増減	備考
一般会計繰出金	240,000	255,000	△15,000	2010年度退職会員会費 16人×3,000= 48,000 2011年度退職会員会費 30人×3,000= 90,000 2012年度退職会員会費 19人×3,000= 57,000 2013年度退職会員会費 15人×3,000= 45,000 2014年度退職会員会費 5人×3,000= 15,000
返還金	9,000	9,000	0	死亡退会返還
次年度繰越金	1,133,245	837,418	295,827	内訳は予算書に
合計	1,382,245	1,101,418	280,827	

## 2015年度弔慰金会計決算書

(2015.4.1～2016.3.31)

費目	収入金額	支出金額	次年度繰越金	備考
前年度繰越金	42,234			
預金利息	8			
弔電費補助		28,000		28人(2015年度)
合計	42,242	28,000	4,242	

## 会計監査報告書

2016年5月7日

新潟県高等学校退職者の会  
会長 木村昭雄様

会計監査 知野敬慈 ㊟  
平野伸一 ㊟

## 記

本日、新高退事務局において、2015年4月1日から2016年3月31日までの「新潟県高等学校退職者の会会計」について監査を行いました。

上記会計に関する諸帳簿及び諸証憑を照合精査し、必要に応じて責任者に対する質問により監査を行いました結果、すべて適正に処理されているものと認め、ここに報告します。

なお、会員数減少等による収入減をふまえ、予算の執行に際しては一層精査し、執行されることを提言します。

## 2015年度一般会計決算書

(2015.4.1～2016.3.31)

〔収 入〕

費 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
前年度繰越金	135,258	135,258	0	
会 費	2,131,000	2,020,500	110,500	1,500×301人 3,000×523人
新高教補助金	515,000	515,000	0	
雑 収 入	200,000	228,485	△ 28,485	日退教・日教組交付金(旅費) 161,400 囲碁大会費、研修旅行費等清算残 23,029 祝儀等 44,000 預金利息 56
合 計	2,981,258	2,899,243	82,015	

〔支 出〕

費 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
分 担 金	140,090	140,090	0	日退教分担金 90,090 北陸地区退教協会費 10,000 連合新潟高齢協会費 40,000
総 会 費	301,000	330,592	△ 29,592	第35回総会旅費 157,140 同 懇親会費(参加費134,000 相殺) 173,452
会 議 費	135,000	103,764	31,236	県委員会費 60,080 役員会・その他会議費 38,064 会計監査委員会費 5,620
委 員 会 費	80,000	47,640	32,360	福祉厚生委員会費 22,600 生涯学習委員会費 25,040
情 宣 費	100,000	74,280	25,720	広報編集会議費 38,280 取材費・編集費 36,000
支部活動推進費	650,000	623,360	26,640	支部活動交付金(会員数×400+132,000) 498,400 支部総会出席旅費 52,960 支部広報活動補助 72,000
学 習 交 流 会 費	350,000	324,226	25,774	福祉学習講座費 99,128 生涯学習講座費 67,038 囲碁大会費(参加費相殺) 47,060 支部学習会補助 60,000 支部同好会活動補助 51,000
活 動 費	350,000	337,310	12,690	日退教総会旅費 45,040 北陸地区退教協総会旅費 77,920 北陸地区退教協代表者会議旅費 45,200 連合新潟高齢協総会旅費 5,010 地公退高齢者集会・全国高齢者集会旅費 67,260 日退教活動交流集会・日教組五者合同学習会旅費 67,040 その他 29,840
事務局業務費	626,000	596,472	29,528	事務局会議費 215,692 事務局業務費 216,000 事務局行動費 80,000 事務局研修費 60,000 消耗品費・その他 24,780
通 信 費	50,000	36,062	13,938	はがき・切手代 18,800 DM・メール便代 17,262
弔慰金返戻金	30,000	19,000	11,000	1,000×19人 19,000
借入金返済	100,000	0	100,000	
予 備 費	69,168	178,168	△ 109,000	振込手数料(受取人払) 64,648 祝儀・その他 55,000 人権・同和センター、教育をよくする県民会議会費 8,000 木村毅顧問香典・生花代 50,520
合 計	2,981,258	2,810,964	170,294	

次年度繰越金	88,279
--------	--------



# 第35回 新潟県高等学校退職者の会 総会

## 日程と次第

日 時	2016年6月22日(水)	3. 議長選出・あいさつ	10. 議 事
会 場	新潟会館	4. 会長あいさつ	第1号議案 2016年度活動方針(案)
総 会	12:30 ~ 14:00	5. 新高教委員長あいさつ	第2号議案 2016年度予算(案)
懇親会	14:10 ~ 16:00	6. 来賓あいさつ	第3号議案 支部改編について
			第4号議案 その他
総会次第		7. 2015年度経過報告	報 告 役員の選任について
1. 開 会		8. 2015年度会計決算報告	
2. 黙 祷		9. 2015年度会計監査報告	11. 閉 会

## 2015年度経過報告

### 1 活動経過

#### 各種委員会・諸活動など

- 04.22 第1回生涯学習委員会
- 05.09 会計監査
- 05.11 第1回役員会
- 05.13 生涯学習委員会・地域探訪(～05.14)  
「世界ジオパークとデンカ青海工場を訪ねる」
- 06.01 通信No.119発行
- 06.11 県委員会
- 06.24 第34回総会・懇親会
- 07.23 第2回役員会
- 09.01 通信No.120発行
- 09.03 第23回新高退団碁大会
- 09.30 第1回福祉厚生委員会
- 09.30 第22回福祉学習講座  
「認知症を学ぼう～私とまわりの人のために」
- 10.21 生涯学習委員会・研修旅行(～10.22)  
「靖国神社を自分の目で見る旅と班別研修で巡る東京」
- 12.01 通信No.121発行
- 01.13 第2回生涯学習委員会
- 03.01 通信No.122発行
- 03.09 第2回福祉厚生委員会
- 03.31 第39回高校退職者激励会

#### 日退教・連合高齢協・新高教・新退教他

- 04.18 戦争をさせない・にいがた県民集会
- 05.01 第86回新潟県中央メーデー
- 05.22 新退教第43回定期総会
- 05.23 立憲主義と憲法9条を守る県民の集い
- 06.01 護憲フォーラムにいがた総会・講演会
- 06.09 第44回日退教定期総会
- 06.17 北プロ第39回定期総会(～06.18)
- 07.04 新高教第83回定期大会
- 07.12 柏崎刈羽原発ハイロ県民シンポ

- 07.13 戦争法案廃案！総がかり行動 in 新潟
- 07.14 希望奨学金選考委員会
- 07.21 連合新潟高齢協第23回定期総会
- 07.21 教育をよくする県民会議第4回総会
- 07.25 被爆70周年・原水爆禁止県民大会
- 07.27 戦争法案廃案！総がかり行動
- 08.01 安保法制・緊急市民集会
- 08.30 8.30戦争法案廃案！総がかり県民集会
- 09.09 ピース・パレード(県弁護士会主催)
- 09.10 新潟県退職教職員第23回囲碁大会
- 09.14 地公3単産・地公退高齢者集会
- 09.15 退職者連合高齢者集会
- 09.16 9.16絶対に強行採決を許さない！緊急集会
- 09.18 怒りの緊急集会
- 10.01 北陸ブロック退職教職員囲碁大会
- 10.15 第22回五者合同学習会
- 10.16 第21回日退教組織活動交流集会
- 10.21 10.21国際反戦デー
- 11.29 立憲主義と憲法9条をまもる県民の集い
- 12.05 2015もんじゅを廃炉に全国集会
- 01.22 新高教旗開き

#### 支部総会

- 05.17 柏崎支部
- 06.10 長岡支部
- 06.12 新発田・村上支部  
三条・加茂支部
- 06.13 新津支部
- 06.14 魚沼支部
- 06.17 佐渡支部
- 06.19 新潟支部
- 06.20 上越支部
- 09.26 西蒲・燕支部

※詳細は通信No.119～123の  
 「『活動日誌』・点描」参照

## 2 2015年度活動の概要

### 2-1 組織の現状

(1) 現職の再任用制度が定着するとともに、新高教継続組合員化も一定程度の進展がみられる状況になってきました。その一方で、2015年度の加入は2014年度末退職者の10名と過年度退職者3名の13名で、昨年度を更に下回る厳しい状況にあります。

現在の組織状況は新入会員の減少が一層強まるとともに会員の高齢化・死亡等により会員の減少の幅が拡大しています。未加入再任用者、過年度退職者等の組織化が必要です。

(2) 支部体制では8支部で役員交代がありました。一方、支部会員の減少と新高教の支部再編の関係で支部活動を維持することが困難な支部が出現しました。

(3) 第34回総会は58名(定数60人)の代議員の出席で開催されました。役員選任では、副会長が上杉敬子さん(新潟支部)に代わり阿部美智子さん(新任・新潟支部)、会計監査が横山勲さん(新潟支部)に代わり平野伸一さん(新任・新津支部)の他、12名の新体制が承認されました。また、当日提案の「戦争法案阻止・辺野古新基地阻止の闘いに取り組む」の特別決議を含む全議案が承認されました。【通信No.120参照】

### 2-2 新高教との連携

(1) 4月の統一地方選では、残念ながら2014年12月の衆議院選挙同様に、全国的にも、県内にも安倍政権の「戦争法」にブレーキをかけることができない厳しい結果となりました。しかし、新高退の会員候補は、新潟市西蒲区の竹内功さん(2回目)、新発田市の渡部良一さん(3回目)、刈羽村の伊藤範昭さん(2回目、返り咲き)の当選を果たすことができました。【通信No.119「編集後記」参照】

(2) 教育問題懇談会は昨年度からのテーマを設定しない「現退交流会」としての開催も含め、全支部(西蒲・燕支部は新潟、三条・加茂支部に参加)で開催されました。【通信No.122「支部活動の概要」参照】

(3) 新高教が中心に取り組む活動に引続き参加してきました。とりわけ、東電・柏崎刈羽原発差止め訴訟では、現在まで15回の口頭弁論、街宣行動などに原告団や市民の会の一員として毎回多くの会員が参加しています。

(4) 現職の「戦争法案強行採決に対する抗議のとりくみ」として支部別憲法学習会が8月後半か

ら9月にかけて7地区支部で開催されました。4地区支部で参加し、参加者は上越、佐渡、新潟支部で10名を越えました。また、「戦争させない全国署名」は144筆を集約しました。

### 2-3 生活擁護・諸要求実現の取り組み

(1) 日退教第44回総会、連合新潟高齢協第23回定期総会、地公三単産・地公退高齢者集会、2015年退職者連合全国高齢者集会・第22回五者合同学習会、第21回日退教組織活動交流集會に参加して、生活擁護・諸要求実現の活動に取り組みました。【通信No.121参照】

(2) 戦争法阻止の取り組みは、総会の特別決議に始まり、9月19日の参議院での可決後も集会や街頭行動(スタンディング・街宣)などに多くの会員が参加しました。また、通信でもNo.120から「教え子を再び戦場に送るな!『戦争法』阻止の取り組み」として記事を連載してきました。

(3) 日退教の要請に基づき、「『戦争法の廃止を求める統一署名』と『辺野古基金』への協力」を取組みました。50名を超える方から本部事務局に郵送していただき、268筆を集約しています。

### 2-4 委員会、広報(「新高退通信」)の活動

(1) 福祉厚生委員会

第22回福祉学習講座は、公益社団法人「認知症の人と家族の会・新潟県支部副代表」の等々力努さんの講演「認知症を学ぼう～私とまわりの人のために」を60名の参加で9月30日、高校会館で開催しました。【通信No.121参照】

(2) 生涯学習委員会

ア 地域探訪「糸魚川地域」は19名の参加で5月13～14日に実施しました。全行程のガイドと講演を地元の民俗研究者・土田孝雄さん(会員)に、行程のマイクロバスは滝澤文夫さん(会員)にお願いしました。【通信No.120参照】

イ 研修旅行「靖国神社を自分の目で見る旅と班別研修で巡る東京」は従来の研修旅行では試みなかった企画形態で10月21～22日に実施しました。内田雅敏弁護士から遊就館を中心に靖国神社と千鳥ヶ淵戦没者墓苑のガイドと講演(学習)を行っていただきました。(参加者25名)【通信No.121参照】

(3) 「新高退通信」の発行

ア No.119～122を定期発行しました。

イ 「戦争をした国の記憶(リレートーク)」や「支部同好会の取り組み」を企画化し、記事の充実・読みやすさに努めました。

## 2-5 囲碁大会

- (1) 第23回新高退囲碁大会  
9月3日 高校会館(出場者16名)
- (2) 第23回新潟県退職教職員囲碁大会  
9月10日 新教組会館(新高退出場者10名)
- (3) 第7回北陸ブロック囲碁大会  
10月1日 金沢市・石川県教育会館  
(新高退出場者3名)

【詳細は通信No.121参照】

## 2-6 支部活動

- (1) 「支部だより」は、引き続き支部役員の努力で特色ある内容で発行されています。
- (2) 同好会活動は継続されていますが、支部旅行は成立しにくくなっています。【通信No.122「新津支部同好会」、「支部活動の概要」参照】

## 第1号議案

### 2016年度活動方針(案)

#### 1 情勢

安倍政権は、2014年7月に「集団的自衛権の行使」を可能とする閣議決定を行い、2015年9月に違憲の「戦争法」を強行成立させました。「日本版NSC」(国家安全保障会議)や「防衛装備庁」の設置を含め、「合法的」に戦争準備を進めながら、参議院選挙後には自民党の「日本国憲法改正草案」に沿った改憲をめざしています。

また、安倍政権はアベノミクスとして「一億総活躍社会」を打ち出しました。しかし、これは大企業優遇と雇用劣化による格差拡大、TPP合意の強行、沖縄県民の民意を無視した辺野古新基地建設の強行・オスプレイ配備の押しつけ、国民の反対や不安の声を押し切ったの原発再稼働・原発輸出の推進、住民無視の避難地域解除による強制帰還、非正規の声を聞かない労働者派遣法改悪、消費税増税と社会保障切り捨てなど、民主主義と国民の暮らしを破壊するものとなっています。

一方、「戦争のできる国」づくりの強行は、多くの人々の「平和を希求する心」を呼び覚ましています。「戦争法案」反対の闘いでは、共闘組織の「戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会」が結成されました。また、SEALDs(自由と民主主義のための学生緊急行動)などの学生、日弁連など法曹界や憲法学者をはじめ多くの学者・研究者や文化人による「安全保障関連法に反対する学者の会」や「立憲デモクラシーの会」、さらに「安保関連法に反対するママの会」等々、世

代や立場を超えた各層各界の多くの人々が立ち上がっています。

こうした「新たなデモクラシー」ともいべき動きは、「戦争法」反対だけではありません。辺野古新基地建設に反対する「オール沖縄」の取り組みや「さよなら原発」の闘い、ブラック雇用(企業)反対の闘い、TPP協定参加反対をはじめ、国民無視・説明責任放棄の安倍政権の暴走に対し、かつてない抵抗が湧き起こっています。

新潟においては、7月の参議院選挙に向けて市民の声と力で、歴史的とも言える選択の、野党統一候補「森ゆうこ」が決定しました。私たちも、この強権的な「アベ政治」に抗する活動に、個人・組織として可能な限りで連帯し、参加しましょう。

#### 2 基本方針

- (1) 退職者が安心して暮らせる年金・医療・税制・雇用・福祉などの改善をめざして、日本退職教職員協議会、日本高齢・退職者団体連合、連合新潟高齢者協議会などと連携して取り組みます。
- (2) 新高教およびその他の県内外の民主諸団体と連携して、平和憲法擁護、民主教育推進、原発再稼働反対、脱原発社会の実現、辺野古新基地建設反対、沖縄米軍基地撤去などの運動に取り組みます。
- (3) 会員の連帯と親睦、交流を深める方策を絶えず検討しながら、新高退の活性化をめざします。

#### 3 要求の実現・課題解決の取り組みと活動

##### 3-1 年金・医療制度などの福祉政策

- (1) 年金制度について  
すべての高齢者が人並みの生活を維持できる所得を保障する制度の実現など。
- (2) 医療・福祉制度について  
誰でも、いつでも等しく安心して利用できる「国民皆保険制度」を堅持し、医療制度の前進をはかることなど。
- (3) 介護保険制度について  
人間の尊厳を守るために社会化された「介護を提供する」という制度創設の理念を基に、必要なサービスが必要なときに利用できるような制度の実現など。

##### 3-2 脱原発・クリーンエネルギー社会の実現

東日本大震災に伴う東電福島原発事故を教訓に、このような事故を再び起こさないために、原発を再稼働せず廃炉にし、新增設を行わず、自然エネルギー政策を基本とした社会の実現をはかることなど。

東電・柏崎刈羽原発差止め訴訟を支援すること。

(3) 地域高齢協の活動に参加、協力します。

### 3-3 平和をまもる取り組みについて

違憲の「戦争法」(安保関連法)廃止に向けた諸行動に全力で取り組むこと。および、日本国憲法をまもり、47教育基本法の理念を生かす取り組みを行うことなど。

### 3-4 組織の拡大・強化の取り組みについて

- (1) 要求を実現させるため、新高教・日退教とともに組織の拡大・強化に努めます。
- (2) 現退一致、支部との連携強化により、新会員の加入増をめざします。また、何らかの理由で加入のタイミングを失ってきた過年度退職者加入の取り組み、組織から退会者を出さない取り組みを引き続き強化します。
- (3) 支部の活動については、学習会、「支部だより」の発行、同好会活動に補助を行います。

## 4 学習・親睦・交流の取り組みについて

- (1) 福祉厚生委員会企画  
第23回福祉学習講座 9月29日(木)  
「福島からの避難者の話」(予定) 高校会館
- (2) 生涯学習委員会企画  
ア 地域探訪 5月25日(水)～26日(木)「技の伝承・進化するものづくりで世界に発信！ 秘境・八十里越の自然を体感しよう」(燕三条・下田地区)  
イ 研修旅行 10月12日(水)～13日(木)「北前船、西廻り航路起点の酒田、羽黒山、藤沢周平のふるさと鶴岡をたずねる旅」
- (3) 囲碁大会  
ア 第24回新高退囲碁大会  
9月8日(木) 高校会館  
イ 第24回新潟県退職教職員囲碁大会  
9月15日(木) 高校会館  
ウ 第8回北陸ブロック囲碁大会  
10月6日(木) 高陽荘(上越市)

## 5 情宣活動

「新高退通信」の年4回定期発行、手配り率アップの取り組み、引き続き読みやすい紙面作りをめざします。

## 6 支部活動の強化と充実

- (1) 「支部だより」の交換を行い、他支部の活動の成果に学びながら支部活動の活性化に努めます。
- (2) 新会員加入の取り組みについては、現職支部に協力を求めるとともに、本部方針に則り支部全体で取り組みます。

## 7 参議院通常選挙について

7月に行われる参議院選挙は、「戦争法」(安保関連法)の廃止、立憲主義の回復、個人の尊厳を擁護する政治の実現を、大きな柱とする野党共闘とナチスの全権委任法(授權法)類似の「緊急事態条項」の創設など、「憲法改正」を訴える安倍政権との闘いとなる極めて重要な選挙となります。

新潟選挙区は2人区から1人区となり、厳しい闘いとなることから、新高教が推薦する野党統一候補の森ゆうこ(無所属)を全力で支持し、新高教とともに現退一致で勝利に向けた取り組みを強化します。

比例区については、新高教推薦・日政連のなたにや正義候補(民進党)の勝利を目指して取り組みます。

### 第2号議案

### 2016年度予算(案)

予算書は(L7)ページに掲載してあります。

### 第3号議案

### 支部改編について

西蒲・燕支部を廃止し、会員の所属を、本人の希望するその他の支部に変更します。

#### 【提案理由】

- (1) 新高教の支部再編により、該当支部がなくなったことなどの理由で、西蒲・燕支部総会が「支部解散」で合意したこと。
- (2) 支部の設置基準が、新高退規約第4条で、「新高教の支部に準じて支部をおくこと」になっていること。

### 第4号議案

### その他

### 報告

### 役員を選任について

第20期新高教役員選挙の結果を受け、新高退規約第7条による役員を選任について次のように報告します。

副会長 吉田裕史(新任・執行委員長)  
事務局次長 佐藤正成(新任・執行副委員長)